

7月2日(水)
平成26年(2014年)

発行所
〒112-0002
東京都文京区小石川5-4-4
コーティングメディア
編集印刷発行人 コーティングメディア
電話 東京 03 (5842) 8750 番
振替 00120-9-56573 番
<http://www.coatingmedia.com>

Paint & Coatings Journal

ペイント&コーティング ジャーナル

ート材「STR-SiA」を開発、7月7日よりサンプルワークを開始した。

同社はかねてより新規需要分野としてハードコート分野の製品開発を積極化。これまでUV硬化型ウレタンアクリルポリマー「8BRシリーズ」及びUV硬化型アクリルポリマー「8KXシリーズ」を上市するなど、フィルム用ハードコート向けを中心に実績を積み上げてきた経緯がある。

その中で今回開発した「STA-SiA」は、同社が主力製品になり得ると位置付ける新機軸の製品。独自開発した反応性シリカの官能基をラジカル重合性アルコキシシラン化合物で一部変性した有機無機ハイブリッド微粒子を新たに開発し、更にUV硬化型ポリマー及びオリゴマーを組み合わせることで、3成分形によるUV/熱硬化タイプの有機無機ハイブリッド材料の開発に成功した。

担当者は「軽量、耐衝撃性に優れ、成形加工が容易なプラスチック材料がガラス代替として自動車、液晶テレビ、スマートフォンなど多くの分野で採用されている中、より高い耐擦傷性、硬度が求められていた」(担当者)と開発の経緯を説明。性能面では、高い基材密着性を保持しつつ、鉛筆硬度9Hの塗膜硬度及び耐擦傷性(スチールウール#0000/500g加重×100回で「傷なし」)を持つ保護膜を形成することから、車両窓、タッチパネル、フレキシブルディスプレイ、有機EL/LEDなど、ガラス代替プラスチック用ハードコート材としての利用拡大に期待感を示す。

また密着性、加工性とのバランスにおいては、「無機成分中のシラノール基は他官能基の変性が可能な他、UVポリマー、オリゴマーの成分比率を変更することで、柔軟性、加工適性を持たせることができる」と、顧客の開発要望に応じたカスタマイズ対応も積極化していく。同社では今後、用途開発と合わせて設備投資を図る予定で、2017年に売上高6億円を目指す。

ファインケミカル・オーダーメイド 技術革新をサポートする 高機能性樹脂

アクリル樹脂の設計・製造を構成する4つの部門

電子材料用

レジスト用・カラーフィルター用・
帯電防止用・焼成用アクリル樹脂、
ハードコート用樹脂(ポリマーUV)

印刷・包装材料用

出版・建材・食品包装グラビアインキ用
樹脂、シルクスクリーンインキ用樹脂

コーティング材料用

外装建材用水性カチオンエマルジョン、
プラスチックフィルム・シート用複合樹脂
(ウレタン変性アクリル樹脂)

化粧品・医療品材料用

液状ファンデーション用非水シリコン
エマルジョン

大成ファインケミカル株式会社

本社・工場 〒289-2505 千葉県旭市鎌数9163-19 あさひ鎌数工業団地内
TEL 0479-64-2077 (代) FAX 0479-64-2288
営業所・研究所 〒124-8535 東京都葛飾区西新小岩3-5-1
TEL 03-3691-3111 (代) FAX 03-3691-3160
ホームページ <http://www.taisei-fc.co.jp>

UV/熱硬化型有機・ 無機ハードコートを開発 大成ファインケミカル

大成ファインケミカルはUV/熱硬化型有機・無機ハイブリッドハードコ